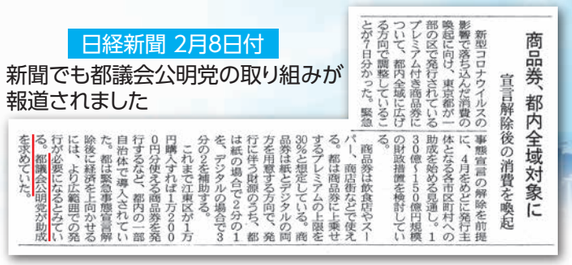
都議会公明党
家計と地域と医療を守る！

令和3年度 都予算案が発表

令和3年度の東京都当初予算案は、15兆1,579億円で、これにコロナ対策として新たに補正予算案が追加となり、これらの予算案に都議会公明党の主張が数多く盛り込まれました。

日経新聞 2月8日付

新聞でも都議会公明党の取り組みが報道されました



商品券、都内全域対象に

宣言解除後の消費を喚起

新型コロナウイルスの事態宣言の解除を前提に、4月をめどに発行主体となる各市区町村への助成を始める見通し。1～3億～150億円規模の財政措置を検討していることが7日分かった。緊急事態宣言の解除に伴う財源のうち、都は紙の場合で2分の1を、デジタルの場合で3分の2を補助する。

これまで江東区が1万円購入すれば1万2000円分使える商品券を発行するなど、都内の一部自治体で導入されていた。都は緊急事態宣言解除後に経済を上向かせるには、より広範囲での発行が必要になるとみている。都議会公明党が助成を求めていた。

商品券は飲食やスーパー、商店街などで使える。都は商品券に上乗せするプレミアムの上限を30%と想定している。商品券は紙とデジタルの両方を用意する方向で、発行に伴う財源のうち、都は紙の場合で2分の1を、デジタルの場合で3分の2を補助する。

プレミアム付き商品券について、都内全域における方向で調整していることが7日分かった。緊急

家計と地域を助ける
「生活応援商品券」事業を実現

都議会公明党はコロナ禍で厳しさを増す都民の家計を支えるとともに消費を喚起するため、使い勝手の良い商品券の発行を都が財政的に支援する事業の推進を都知事に強く要望しました。

このほど、購入額1万円で1万3千円分を地域で使用できる生活応援商品券の発行支援が決定。都内全世帯で申込みが可能となるよう予算も130億円規模となりました。

新規 130億円規模

出産家庭に一人あたり10万円分の支援
～公明党の推進で対象拡大～

都内の出産費用が全国平均を大幅に上回っていることを考慮し、コロナ禍で子どもを産み育てる家庭を都独自に支援するよう都知事に要望。子ども一人あたり10万円分の子育て支援サービスや育児用品等が提供されることになりました。当初、令和3年4月1日以降に出生した子どもを持つ家庭が対象でしたが、都議会公明党のさらなる申し入れにより令和3年1月1日以降に対象を拡大しました。

新規 126億円規模

医療従事者の特殊勤務手当を大幅に増額
～1日当たり3千円から5千円に～

都議会公明党は都知事に対し、医療現場で奮闘されている医療従事者の特殊勤務手当を引き上げるよう繰り返し要望してきました。

都は、民間医療機関及び都立・公社病院等に勤めている医療従事者を対象に、現在の1日当たり3千円から5千円に手当の増額を決定。令和3年1月8日にさかのぼって適用になります。

新規 50億円規模

公明党北多摩第3総支部

調布・狛江NEWS

KOMEITO 公明党

2021年 春号

発 行／公明党北多摩第3総支部
東京都調布市国領町8－1－6

政策アンケートに46,994筆の市民の願い
―総支部顧問―
中島よしおが東京都に提出

公明党北多摩第3総支部では、このほど政策要望アンケートを実施。総計18,881人から46,994筆の要望をいただきました。

3月3日、中島よしお総支部顧問は、調布・狛江の市議、子育て世代の都民の代表と東京都庁を訪れ、東京都の多羅尾副知事と植村公園緑地部長に、意見をまとめた要望書とアンケートを提出。多羅尾副知事は「きめ細かな要望をいただきました。一つ一つにしっかり対応し、尽力したい」と述べました。（アンケートの詳細は中面に掲載）

赤羽国交大臣が多摩川を視察　命を守る治水対策を推進！

赤羽国交大臣（前列左から3人目）が多摩川流域の護岸工事の様子を視察。中島よしお（同4人目）は、生活者の声を紹介し、さらなる治水対策の推進を申し入れた

2月13日、赤羽一嘉国土交通大臣が2019年の台風19号で被災した多摩川流域を視察しました。これには、中島よしおをはじめ、狛江市の松原市長、公明党の佐々木狛江市議、小林調布市議らが同行し、堤防のかさ上げや土手天端（てんぱ）舗装整備の進捗状況を確認しました。

これまで、公明党が市民の声を受けて強く要請してきた、水位を下げる川底の掘削、堤防最上部の整備事業など具体的な治水対策について、あらためて松原市長から赤羽大臣に要望。赤羽大臣は「省を挙げてしっかりと取り組む」と述べました。公明党のネットワーク力で、命を守る防災対策が力強く進んでいます。

狛江市　水道道路の整備事業に着手

東京都は、狛江市の調布3・4・2号（水道道路線）について2月9日、国土交通省から都市計画事業の認可を取得。拡幅整備事業の実施が決定しました。同事業は、交通の円滑化や歩行者・自転車の安全確保を願う住民の声を受け、中島よしおを中心に、公明党が長年にわたって実現を訴え、推進してきたもの。今回の事業で、道路の幅が約8mから16mに広がり、電線類の地中化や道路の緑化等も進む予定です。

今後も住民の声を聴きながら、美しく安全な街づくりに全力を尽くします。

https://nakajimanet.com/

中島よしお　検索

小さな声を大きな力(ちから)に!

公明党 北多摩第3総支部(調布・狛江) **政策アンケート集計結果**

皆さまからのたくさんのお声

総計 46,994筆

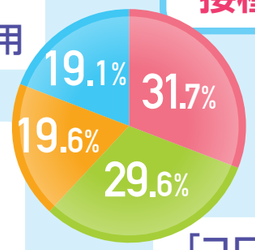
ありがとうございました!

公明党北多摩第3総支部では、政策要望アンケートを実施。調布・狛江の市民の皆さまに、特に推進を希望する政策項目をチェックしていただきました(複数回答可)。ご協力ありがとうございました。皆さまの声を都に届け、政策推進への力にすることができました。以下に詳細をご報告いたします。

医療・福祉

救急医療体制を強化へ
小型のドクターヘリを活用

高齢者の孤立化を防ぐ
「東京みんなでサロン」
の実現



新型コロナのワクチンを
接種できる体制を整備

「コロナ専用病院」の
病床数を拡充

Pick up コロナワクチン 希望者への無料接種が開始 実現!

公明党の推進で昨年12月、新型コロナウイルスワクチンの希望者全員への無料接種に向けた改正予防接種法・検疫法が国会で成立。接種の実施主体を市町村とした上で、費用は国が負担することなどを盛り込みました。公明党は昨年7月の国会質問などで「予備費の活用」や「健康被害救済制度の創設」を提案。政府が実施の方針を表明したことで、製薬会社との交渉が大きく前進しました。

いよいよ春からは順次ワクチン接種が開始されます。公明党は、市民の皆さまが安心してワクチンを接種できる体制づくりに尽力していきます。

4月からの コロナワクチン 集団接種場所
(今後、追加・変更の可能性があります)

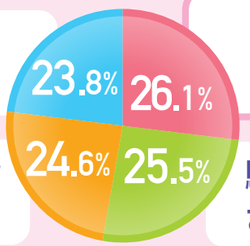
調布市
- 京王線調布駅前に500〜600平方メートルのプレハブ施設を設置

狛江市
- 上和泉地域センター体育館
- 岩戸児童センター遊戯室

防災・安心

民間病院にも非常用
電源装置を拡充

特殊詐欺対策や防犯カメラ
の設置・改修を推進



災害時のさらなる
避難場所の確保

駅のホームドア設置を
さらに推進

体育館の冷暖房完備へ! 避難所として商業施設や都有地の活用も推進 Pick up

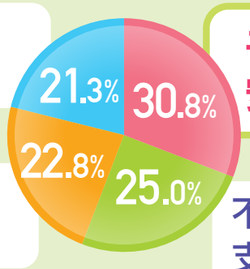
災害時の避難所にもなる学校の体育館。冷暖房の未整備が課題でした。公明党の推進により、2018年度の都の補正予算で補助制度の創設が実現。19年度と20年度には、初期コストを抑えたリース方式への支援が盛り込まれ、学校体育館へのエアコン設置が実現しました。

調布・狛江両市ではすべての小中学校への21年度中のエアコン設置が決定。さらに都有地の活用や、大型スーパー・施設とも連携した避難所の確保など、市民の命を守る政策を推進していきます。

未来が輝く街へ

音楽・文化の街へ―
駅前広場の活用・充実

買い物をサポートする
移動販売車を実用化



子どもたちが安心して
安全に遊べる公園を

不妊治療や不育症の
支援拡充 相談体制を整備

公園の整備を進め さらに住みよい街へ Pick up

公明党は、「公園」の有効活用へ、さまざまな政策を提言してきました。

都が管轄する野川公園、神代植物公園、武蔵野の森公園に、お子さまが安全に遊べる遊具の設置を要望。また、都営住宅の広場に成人や高齢者も使える「健康遊具」の設置を要請し、さらに市議会と連携しながら、市営公園の古くなった遊具の改修、汚れた遊具の清掃などを推進しました。今後も住みよい街づくりを進めていきます。